

THE LONGINES WORLD'S BEST RACEHORSE RANKINGS

The official listing of the world's best racehorses

(For 3yos and upwards which raced between 1st January 2016 and 6th March 2016)

世界を代表する3頭が2016年第1回ロンジンワールドベストレースホースランキングにおいてトップで並んだ。どの馬もドバイ調教馬ではないが、いずれも3月26日のドバイワールドカップデーを目指す予定である。

LONGINES World's Best Racehorse Rankings			
Leading Horses			
Rank	Horse	Rating	Trained
1	CALIFORNIA CHROME (USA)	121	USA
1	DURAMENTE (JPN)	121	JPN
1	POSTPONED (IRE)	121	GB
4	FROSTED (USA)	120	USA
4	SONGBIRD (USA)	120	USA

カリフォルニアクローム【121】は今季初戦となるサンパスカルステークス(G2)を制し、その後ドバイへ向かった。メイダン競馬場で施行されたトランスガルフエレクトロメカニカルトロフィーでは他馬より15ポンドも背負いながらも楽勝した。次走はドバイワールドカップ(G1)の予定である。同馬は昨年のドバイワールドカップでは2着であったが、その後休養し、サンパスカルステークスが久々の出走であった。

ドゥラメンテ **【121】** もまた長期休養から復帰し、2月末の中山記念(G2)ではアンビシャスにクビ差で勝利した。昨年、日本の最優秀3歳牡馬に選ばれた同馬は、昨年5月の東京優駿（日本ダービー）(G1)を制した後、長らく出走していなかったが、これは両前肢の骨折が判明し、手術を経て休養していたものである。

ポストポンド **【121】** は、昨年のフォワ賞(G2)を制した後、休養していたが、ドバイワールドカップデーの前哨戦であるスーパーサタデーにおいて鮮やかなパフォーマンスを見せ、今季初戦を飾った。5歳となった同馬はドバイシティオブゴールド(G2)を3馬身差で制し、存在感を示した。ポストポンドとドゥラメンテはドバイワールドカップデーに施行されるドバイシーマクラシック(G1)で対戦する予定である。

フロステッド **【120】** もドバイでのパフォーマンスで存在感を示した1頭である。米国調教の同馬はアルマクトゥームチャレンジラウンド2(G2)を5馬身差の圧巻のパフォーマンスで制し、2016年シーズン初戦で上々の滑り出しを見せた。この後はドバイワールドカップでカリフォルニアクロームと対戦する予定である。

米国で目立った活躍を見せたのがソングバード **【120】** である。昨年無敗で2歳牝馬チャンピオンとなった同馬は、ラスヴェージネスステークス(G2)とサントイザベルステークス(G3)を制するなど、新たなシーズンにおいても圧倒的なパフォーマンスを見せている。現在、同馬は5月のケンタッキーオークス(G1)の1番人気に支持されている。